

## ちいき支え合い懇談会アンケート結果（八街中央中学校区）

日時 令和6年12月1日（日）

午前10時から正午

場所 市総合保健福祉センター3階

大会議室

参加者 34名

アンケート回答数 28

Q1. ちいき支え合い懇談会に参加してどうでしたか。

大変満足した 9名

満足した 18名

どちらともいえない 1名

Q2. 今後も毎年ちいき支え合い懇談会を開催する予定です。開催した場合は参加されますか？

参加する 21名

どちらともいえない 7名

参加しない 0名

・参加すると回答した方の理由

生きていれば？

・どちらともいえないと回答した方の理由

たくさんの方が参加した方が良い

Q3. ちいき支え合い懇談会に参加して感じたことがありましたら自由に記載ください。

・とても楽しく学びになる時間でした！最初きんちょうしていたのですが、同じグループのわたなべさんたちとたくさんの話し合いができて、今後に生かしていくこうと思います。発表もぐだぐだでしたが、B班の考えをつたえられたと思います。ありがとうございました。

・地域が共通認識を持つことは、多様な市民社会において重要なスタート地点ですが、今日の発表を聞いてひとつの方向性、まとまりを見出せました。

・コミュニケーション・あいさつというシンプルな行為から始まる地域のつながり顔の見える関係 そこを皆が共通に求めていることが知れて良かったです。

ただ、この場に参加する方々はその意識が前提にあります。今後は、この場に居ない方々をどう同じ気持ちを持ってもらうのかその行動計画が肝になってくるかと思います。引き続きの活動を期待します。

- ・話をすすめていくと、同じ様な事を皆さん考えているのだと知りました。
- もっと地域と関わり参加することの重要性を実感しました。ありがとうございました。
- ・どのグループもハ街市の地域の事を考えており同じ意見でした。今後は、PDCA サイクルを実行していく様頑張っていきたいと思いました。ありがとうございました。
- ・ハ街市のプラスの事を多くふやして住みやすい町にしていきたいと思います。
- ・具体的なアイデア出しに時間を割いてほしい
- ・小中学生の参加が必須
- ・子育て世代の参加
- ・大人だけでなく若い人も参加されるとより良い会議になると思います。子供達の意見も良かったです。
- ・共通した課題がいくつもあり、勉強になった。関係者と共有し、いくつかの案件について少しでも課題解決に向けて進めていきたい。
- ・ 1 小学生の参加今後もお願いしたい（中学生・高校生も）  
2 保護者の参加も希望したい
- ・自分にできることをこれからやっていこうと思った。
- ・だいたい問題はどのグループも同じ様なものであった。これを参考に問題が一つでも良い道しるべが、できたらと思います。
- ・こん談会を通して色々な事を学べました。
- ・この会で、地域のことに関わっていこうという気持ちになれました。次回も出たいです。
- ・地域に関わる色々な方の意見がきけて良かったです。
- ・たくさんの方が参加し、地域に対しての意識が高まればいいと思います。
- ・皆さんの考え方と共通点が多いと感じた。
- ・どのグループも同じ問題がありました。
- ・解決策があればいいと思います
- ・今後こういう懇談会を開催していって欲しいです。
- ・各地域・地区ともほぼ同じ悩み、認識である事が確認できた。
- ・すぐの解決は難しいが、方向性が少し見えてきた感じがします。
- ・小学生の参加がたいへん有意義でした。
- ・ほとんど問題は同じようでした。
- ・WS も大変進歩したと思う。もう一步前進して解決策に集中できると良い。
- ・今年は小学生が参加していただき生の声を聴けたことは有意義な懇談会でした。
- ・小学生を混じえた世代を超えた交流会（意見交換）は大変有意義であった。次回は、中学、高校、大学生等の参加を期待します。
- ・小学生の参加は非常に意味がある。小学生のみならず中学生、高校生も参加したら良いと思う。

- ・小学生の参加は、とても有意義でした。
- ・小学生、中学生、高校生、大学生、子育て世代の参加があるとよいと感じます。
- ・課題を、各グループで1つにしぼってそれについて話し合った方が大ざっぱにならずもつと深く掘りさげられるように感じます。時間的にあれこれ考えたり対策をみつけるのは難しいと思いました。少し中途半端になったようなもっと話し合いたいジレンマがありました。3分発表は短いです。
- ・小学生の子供たちの参加は良かったです。是非子供の遊び場には成果を出してほしいです。
- ・小学生の参加があったが（よかったです）、いろいろな世代の方の意見をききたいと思いました。
- ・地区ごとの（地域性）課題、現状！社会資源にもとづいて身近な問題から話し合いができたと思います。